<table>
<tr><td rowspan="3">科目名</td><td rowspan="3">基礎看護学実習</td><td>時期</td><td>1年後期</td><td>担当者</td><td>川添ゆかり　他</td></tr>
<tr><td>単位数</td><td>1</td><td rowspan="2">実務経験内容</td><td rowspan="2">看護師として勤務した経験をもとに講義を行う。</td></tr>
<tr><td>時間数</td><td>40</td></tr>
<tr><td>実習目的</td><td colspan="5">受け持ち患者を理解し、既習の基礎的知識・技術を活用して、対象に必要な日常生活援助の理解を深め、看護師としての態度を養う</td></tr>
<tr><td colspan="6">実習内容</td></tr>
<tr><td>病院</td><td colspan="5">Ⅰ．実習期間：4日間（8:00~15:45）
Ⅱ．実習場所：病院
Ⅲ．実習方法
１．事前学習
１）事前学習を決められた日時に提出する
２）バイタルサイン測定と日常生活援助技術を練習する
２．実習内容
１）患者1人を受け持つ
２）実習計画を立て、指導者・教員の指導を受けながら実践する
３）バイタルサイン測定と対象の日常生活情報を収集し、必要な日常生活援助技術を指導者・教員の指導のもと、安全・安楽に行う
４）テーマに沿った毎日の学生カンファレンスを実施し、実習最終日は終了カンファレンスを行う
※詳細は、基礎看護学実習要項参照
３．実習評価
１）基礎看護学実習評価表に基づき評価を行う</td></tr>
<tr><td>学内</td><td colspan="5">Ⅰ．実習期間：病院実習終了の翌日（4時間）
Ⅱ．実習場所：学内
Ⅲ．実習方法
１．グループディスカッション
１）実習記録、リフレクションシート、終了レポート、各病棟カンファレンスファイルをもとに行う
２．各病棟グループごとに『看護とは』まとめの資料を作成する
３．発表</td></tr>
</table>